

教えて！歯の治療&ケア

〈10〉

矯正治療の治療期間短縮も可能  
通常2、3年が1年以内に

インプラントや矯正治療について、ペリオインプラントセンター広島「高井歯科医院」の高井康博院長に聞きました。

Q 前回、インプラント治療の治療期間を短縮させる治療法について伺いましたが、矯正治療も治療期間が長期にわたり、治療に踏み切れないという相談がよくあります。治療期間を短縮させる方法がありますか。



高井康博先生  
ペリオインプラントセンター  
広島「高井歯科医院」院長  
日本臨床歯周病学会認定医、J-IADSペリオインプラント講師、3インプラント公認講師

たPAOO(Perio

dontally Ac

celerated O

steogenic O

rthodontic

S)という外科手術と矯

正治療を併用した方法が

登場し、昨今のアメリカ

歯周病学会でもトピック

スの一つとなっていま

す。適応年齢や適応症例

に限りはありますが、通

常2、3年かかる治療期

間を1年以内に短縮する

ことが可能です。ほかに

も歯根の吸収回避や治療

中の歯の痛みの軽減、治

療後の歯の安定性が高く

後戻りが起こりにくいな

どの利点があります。詳

しくは専門医に相談を。

A 患者さんの社会的背景が多様化している現代では、矯正治療を希望される人の中にも、いろいろな都合で治療期間の短縮を強く希望される方がたくさんいらっしゃいます。特に成人の方は、結婚や就職、海外への転勤などを理由に強く希望される方が多く見られるようです。

そこでこの問題を解決するため、2000年ごろにアメリカのWilckoという先生が報告し



手術前



PAOO治療から10カ月後